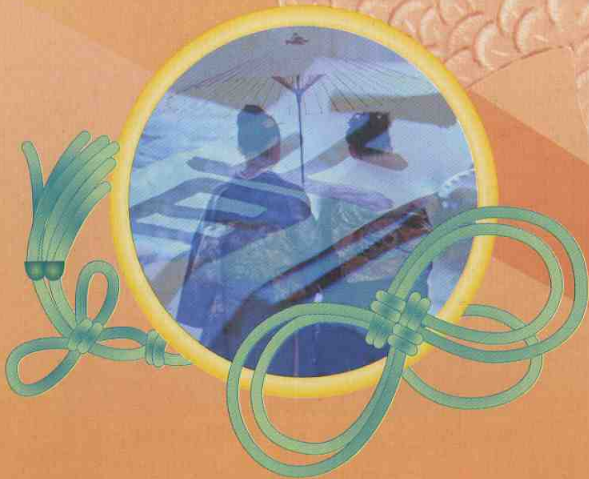


JET Report

ジェットレポート

vol. 27

新春号



財団法人 電気安全環境研究所

JAPAN ELECTRICAL SAFETY & ENVIRONMENT TECHNOLOGY LABORATORIES

CONTENTS

	新年のごあいさつ	3
JET SCOPE	認証ラベルの貼付 本年4月から一斉開始	4
Conference Report	IEC/TC61 ブリスベン会議から	5
SAFETY REGULATIONS	電気用品安全法施行令及び 施行規則等の一部改正について	6
海外情報	ITS香港との協力状況について 香港ぶらぶら紀行2	7
JET INFORMATION	電気製品認証協議会によるSマーク広報活動について —くらしフェスタ2004出展・Sマーク付き電気製品の店頭普及実態調査— 燃料電池発電設備用系統連系装置認証試験受付開始！ 最新版のIEC規格に基づくCB証明書の発行について JET-QMSプロセス型審査へ移行 環境マネジメントシステム審査登録適用規格改定に 伴う取り扱いについて	8
相談事例集	皆様のご相談にお答えします	14
試験現場NOW 〈19〉	関西事業所 総括管理支援グループ	15
JETの試験設備 〈19〉	塩水噴霧試験機	15

お知らせ

「S-JETマーク」車内広告実施のご案内

2月に関東/関西/中部地区で行います！

JETでは、電気製品の安全マーク「S-JETマーク」を消費者の皆様に広く知っていただくため、今年度も車内広告の掲示を、関東・関西・中部地区で実施いたします。

今後とも効果的な広報を進めたいと考えておりますので、もしお見かけ頂きましたら、同封のアンケートでご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

(企画広報部)

広告掲出路線

関東地区	東京メトロ千代田線(窓上)
	都営浅草線(窓上)
関西地区	JR普通・快速(中吊り)
中部地区	名古屋鉄道(窓上)



新年明けましておめでとうございます

「JET Report」をご愛読の皆様方におかれましては、希望に向けた新年をお迎えのことと存じます。

我が国は、経済社会をはじめ様々な分野において、いまだ大きな変革の渦中にあると言えます。そのような状況下、先行き不透明ながらも、IT産業等を中心として景気上昇の明るい兆しを身近に感じられるようになって参りました。

我々JETをはじめとする認証機関が携わる審査・認証業務におきましては、平成13年の電気用品安全法改正という大きな局面から4年を経たものの、まだまだ過渡期であると言え、これからも更なる状況の変化の訪れが予想されます。勿論、様々な制度改革や法規制の変化への適応のほか、国内外の情勢の変動に対応して、お客様のニーズも多様化して参りますので、我々もそのご要望を先取りしつつ、常に変革していくことの重要性を痛感しております。

その一環として、JETでは昨年より、皆様も関心が高いと思われまます新JIS法および改正薬事法への対応のための諸準備や、地球環境に優しい新エネルギーとして注目される太陽光発電に必要とされる太陽電池モジュールの製品認証の本格開始、VDE(ドイツ)・ITS(香港)・TERTEC(台湾)・KETI(韓国)等海外の主要認証機関との業務提携内容の拡大等、お客様のニーズに対応すべく、新たな事業展開を進めております。



財団法人電気安全環境研究(JET)

理事長 吉澤 均

勿論、事業の柱としております適合性検査をはじめとする各種製品試験やS-JET認証等の第三者認証業務、ISO9001・ISO14001などの品質・環境マネジメントシステム審査登録業務等につきましても、皆様の様々なご要望にお応えすべく、日々研鑽に努めており、今後も引き続き、役職員一同一丸となりたゆまぬ努力をしていく所存でございます。

ご愛読頂いておりますこの「JET Report」では、従来の業務内容や新制度・新業務等のご紹介をいたしながら、国内外の動向等、皆様方のお役に立てる情報を引き続いて提供して参りたいと思っておりますので、お気づきの点やご要望がございましたら、何なりとご指摘頂ければと存じます。今後とも旧来と変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

(了)

